

熊谷市データ連携基盤システム構成図

IDはクマぶらを入口にLINEと連携し活用、同意管理は各サービス毎に保持（分散型）

凡例

→ データの流れ

サービス

データ連携基盤

データ・アセット

① オープンデータ基盤

オープンデータカタログサイト

- オープンデータを公開するカタログサイト
- API仕様を公開
- API利用状況を表示

データ利活用基盤サービス FIWARE（ファイウェア）

データ仲介(HUB)

データ利用者がアプリ・システム等で活用し易いAPIで登録

民間企業・団体等 保有データ

(スマートシティサービスや民間のアプリ・システムでの活用が見込まれるデータ)

※将来的な想定

熊谷市 オープンデータ

| | |
|----------|-------------|
| まつり・イベント | 暑さSIM |
| 観光・特産・名物 | 避難所一覧 |
| 文化施設 | 肉汁うどんSR参加店舗 |
| 文化財一覧 | 駐輪場利用者数 |

※今後も拡充予定

② サービス・ID認証

都市ポータルアプリ
「クマぶら」
(LINEアプリ)

地域電子マネー
「クマPAY」
コミュニティポイント
「クマポ」

コミュニティバスの
スマホ回数券

ID認証機能

① LINE IDを共通IDとしたサービス間の認証連携

② 厳密な本人認証が必要なサービスには、マイナンバーカード公的個人認証機能を活用

ID連携：
LINE連携

図書館利用
カード申請機能

クマぶら

利用者データ

同意管理データ

コンテンツデータ

ログデータ

集計データ

クマPAY・クマポ

利用者データ

同意管理データ

店舗・施設データ

利用ログデータ

集計データ

スマホ回数券

利用者データ

同意管理データ

ODデータ

集計データ

③ データ利活用

データ可視化・分析

BIツール

「Tableau（タブロー）」

PDS

(パーソナル・データ・ストア)

利用者の同意情報のみ格納

同意管理：
分散型

令和7年度3月時点の状況です。
データ連携基盤に連携するサービス、
データは今後も拡充されます。